学校番号	3028

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史探究」（山川出版社）						
副教材等	担当者作成のプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年時の歴史総合、2 年時の日本史探究で学んだ歴史上の重要な事象について、史資料の読み解きを通して理解し、基礎を固めておくこと。日本史演習では、それら既習の歴史事象どうしの関連性に対する理解を深め、さらに時代を超えた意義や意味合いを解き明かし、表現する能力を養う。

2　学習の到達目標

・日本の歴史を広い視野に立って概観し、交易ネットワークの発達など同時代の横のつながり、および、１つのテーマに沿った縦の流れを、再構成する力を養う。
・時代を超えた諸事象の共通点や相違点について思考し、論理的に表現する能力を養う。
・歴史的事象を知識として習得することにとどまらず、現代の社会との共通点や相違点を考え、批判的に社会をとらえる態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史を広い視野に立って概観し、交易ネットワークの発達など同時代の横のつながり、および、１つのテーマに沿った縦の流れを、再構成できる。	時代を超えた諸事象の共通点や相違点について思考し、論理的に表現できる。	歴史的事象を知識として習得することにとどまらず、現代の社会との共通点や相違点を考え、批判的に社会をとらえる態度がある。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	古代～近世史の諸問	自ら問題を解答し、他者との相互批評を行う。演習を通じて古代～近世史を多角的に考察、論述する。	a: 日本の歴史を広い視野に立って概観し、交易ネットワークの発達など同時代の横のつながり、および、１つのテーマに沿った縦の流れを、再構成している。 b: 問いが求めている内容や条件を的確に把握しており、諸事象の共通点や相違点について思考し、論理的に表現している。 c: 意欲的に予習しており、歴史的事象を知識として習得することにとどまらず、現代の社会との共通点や相違点を考え、批判的に社会をとらえる態度がある。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
後期Ⅰ	近現代史の諸問	自ら問題を解答し、他者との相互批評を行う。演習を通じて近現代史を多角的に考察、論述する。	a:同上 b:同上 c:同上	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
後期Ⅱ	志望校の諸問	自ら問題を解答し、他者との相互批評を行う。演習を通じて古代～現代史を多角的に考察、論述する。	a:同上 b:同上 c:同上	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c: 主体的に学習に取り組む態度